

# 系碕神社新報

第 239 号

発行 系碕神社事務局

令和 8 年 1 月 19 日

系碕神社 三原市系碕 8-10-1 Tel 0848-68-0102

責任編集 宮司 松本 圭



明けましておめでと〜ございませ  
 新年明けましておめでと〜ござ  
 ざいます。旧年中は皆々様に大  
 変お世話になりました。本年も  
 何卒宜しくお願い致します。  
 今年の干支は、十のえうが、丙、  
 十二支が午の丙、午の年であ  
 す。丙とは、即ち火の兄であつ  
 て、燃えさかる火のようなエネ  
 ルギーを象徴します。太陽が南  
 中する時刻を「正午」と言いま  
 すが、午は、方角を表す時は真  
 南を指しますので、これも暖か  
 い火を連想させます。丙も午も、  
 両方とも火の属性を持つことか  
 ら、占いでは、丙午の年は、火  
 のように情熱的な年とされてい  
 ます。また、馬のスピードと力  
 の連想から、丙午は、活力に満  
 ちた躍動的な年と解釈すること  
 ができます。  
 皆様におかれましては、情熱、

活力、躍動感に富んだ丙午の年  
 の強い運氣にあやかつて、まさ  
 に「勝ち馬に乗つて」活躍・躍  
 進する一年でありますよう、祈  
 念致します。

そして、丙午は変化に富んだ  
 年と見る向きもあります。実際  
 問題、国内外の情勢を見るに、  
 ベネズエラのこと、イランのこ  
 と、衆院総選挙と新党結成のこ  
 となど、まさに、燃えさかる火  
 の如く暴れ馬の如く、「激動」と  
 呼ぶに相応しい動きが年明けか  
 ら起こつており、事の善し悪し  
 は別として、正月早々から占い  
 が当たつてしまつたな、といつ  
 たところです。

丙午といえは、「八百屋お七」  
 の物語を思い浮かべる方も多い  
 かも知れません。お七という女  
 性が、江戸で起きた大火で焼け  
 出されて寺に避難したところ、  
 寺の小姓に惚れてしまい、その  
 後、もう一度小姓に会いたいと  
 思いが募つて放火してしまつた、  
 という事件が起きました。その  
 の事件を様々に脚色した物語が  
 広まる中で、お七が丙午の生ま  
 れたとされていたことから、「丙  
 午の女性は情が強すぎて災いを  
 もたらす」などという迷信が出

来てしまいました。結果として  
 人々の間に、丙午の年には「産  
 み控え」をする習慣が広まりま  
 した。実際、データのある明治  
 三十九年(1906)や昭和四十  
 一年(1966)の丙午の年には出生数  
 が減つています。

しかし、八百屋お七の物語は  
 あまりにも誇張がひどく、八百  
 屋お七は丙午生まれだったのか、  
 本当に八百屋だったのか、とい  
 うことさえも頼りになる記録は  
 ありません。ですから私として  
 は、こんな酷い迷信は早く消え  
 て欲しいものだ、と思つていま  
 す。

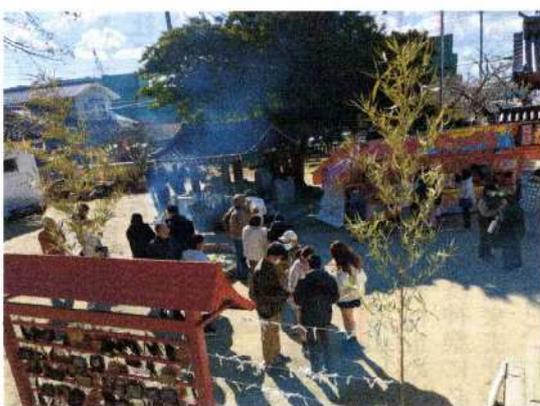
ただ、実際の事件が脚色と誇  
 張に富んだ物語に仕上がつてい  
 ったのには、丙午の年が持つ火  
 や情熱のイメージが背景にある  
 ように思います。中国では古代  
 の昔から、丙午の年には火事が  
 多いと伝えられてきたそうです。  
 「丙午だから特に」ということ  
 ではありませんが、火の元には  
 十分にご注意の上、お過ごしに  
 なつて下さい。

また、丙午の今年が変化に富  
 んだ年だからといって、私たち  
 一人一人の役目が急に変わる訳  
 ではありませんから、まずは、

健康に気を配られて、機嫌良く  
 日々をお過ごし下さい。  
**令和八年初詣**

このたびのお正月は、例年よ  
 りも気温が低い三日となりま  
 した。一月二日の夜から三日の  
 未明にかけてはかなり冷え込み、  
 御社殿の屋根にうつつら雪が積  
 もるほどでありました。そのよ  
 うな寒さにもかかわらず、本当  
 に大勢の方々が初詣にお越しに  
 なりました。

毎度のことではありませんが、  
 元旦は、参拝の方々を受け入れる  
 神社の側の人々にとつて、文字通り  
 の「やっさもつき(人出が凄くてテ  
 ンテコ舞い)」、の状態となります。  
 時間の余裕など一切ありません。一



月二日、三日になると混雑が緩んで、  
 境内を眺める余裕も出てきます。掲

## どうも冴えない内輪の話ですが

年末年始は、初詣対応、企業の年頭安全祈願祭などで慌ただしくしておりますが、このたびの年末年始の期間中は、恒例の業務や神事とは別に、突発的だが後回しに出来ない緊急の業務が、重なるようにいくつも降ってきました。詳細は控えますが極めて異例です。そのため、業務が完全にオーバーフローしてしまい、当紙の発行も随分遅くなってしまいました。皆様には申し訳ないと思っております。一方、さしあたっては窮地は脱しつつあることに安堵しています。次は平穩無事でありますように。



企業の年頭安全祈願祭、商売繁盛祈願祭が執り行われ、これまでに、約三十組の祈願祭神事に「奉仕致します」

載した写真は一月二日の午後撮ったものですが、この写真のように、穏やかで柔らかな「初春」とか「新春」ということが似つかわしい、少しのんびりとした情景にふれて、ようやく「年が明けたな」という実感がわいてきます。このたびも、こうして、新しい年を迎えることができました。いつものことが、いつものように……。本当にありがたいことです。

コロナ騒動をきっかけに初詣の人数が分散化しました。この原稿を書いている一月十八日(日)も、初詣のご家族連れの方々などが、三々五々、お見えになっていきます。

**企業年頭祈願祭**  
お正月の三が日が明けて世の中が動き始めてからは、当社「神前にて、

した。この後も、各々の会社様の縁起に合わせて、安全祈願・商売繁盛祈願のお祭りが予定されています。色々と不満や不安があっても、世の中なんとか無事に回っているのは、皆様お一人お一人の働きがあったこそです。どうか皆様「ご安全に！」

### ご奉仕等

#### ○福寄荒神社霜月祭

十二月十四日(日) 午前十時半

#### ○正分荒神社霜月祭

十二月二十日(土) 午前十時

#### ○時貞妙見祭

一月十日(土) 午前十一時

#### ○扶桑工業(株) 三原工場地鎮祭

国道を挟んで神社の向かい側の理立地に、扶桑工業(株)様が三原工場を新築されることとなり、一月十三日(火)、地鎮祭にご奉仕致しました。この土地は以前から扶桑工業様が所有されていたのですが、例大祭などに際し、たびたび臨時駐車場としてお借りしていました。このたび地鎮祭にご奉仕したことで、いくらかはご恩返しが出来たかな、と、肩の荷が下りた思いです。

#### ホームページ公開しました

昨年十二月二十一日、当社のホームページをインターネット上に公開しました。グーグルなどで「系碕神社ホームページ」、「hosokijingu」などのキーワードで検索すればヒットします。

制作に尽力された方々に改めて御礼申し上げます。  
**ありがとうございます。**

○令和七年末の神宮大麻および系碕神社ご神札の頒布が無事に終わりました。取りまとめをして下さいました各町内会の方々に、改めて御礼申し上げます。また、お礼をお受け下さった皆様に感謝申し上げます。

○このたびの年末年始の、迎春準備、初詣参拝客への対応、後片付けなど、運営にご協力に参加頂きました総代会役員の皆様、有志の皆様へ深く感謝致します。本当にありがとうございます。

### 予定

#### 節分豆まき 二月一日(日)

○一回目：午前十時

○二回目：午前十時半

二回に分けて豆まきを行います。例年通り当たりくじ付きです。道路を挟んで向かいの公園を臨時駐車場として準備の予定です。

○豆まきに参加して下さいる午年生まれの人を募集しています。ご希望の方は、電話でお知らせ下さい。ただし、豆代を申し受けますので、ご了承下さい。午年以外の方でも、豆を撒いて厄落とししたいという方も歓迎です。

#### 節分祭神事 二月三日(火)

二月一日の豆まきとは別に、節分の夜の二月三日(火)午後七時

から、古式に則って節分祭神事を執り行います。

### 神明市

二月六日(金)～八日(日)にかけて神明市が開催されますが、この間、宮司は東町四丁目の胡神社に詰める予定ですが、系碕神社の方も、平常通り業務を行う予定です。

### 疫神祭準備について

一月の下旬から三月末にかけて、系碕神社の西を流れる大平川の改修工事のため、当社から御山に通じる当社に通じる道が通行止めになります。それでは疫神祭に必要な「とんど」が準備出来ませんので、二月二十二日(日)、二十三日(月)は、一時的に通行止めを解除するよう交渉しました。

日程的にかなりタイトなので大変申し訳ございませんが、以下の日程で疫神祭の準備を進めます。

#### ○二月二十二日(日)午前九時

とんどの軸木となる松の木を御山から伐り出します。

#### ○二月二十三日(月)午前九時

とんどの調製を行います。多くの人手が必要になるのは二十三日の方です。有志の皆様、何卒ご協力下さいますよう、お願い致します。

### 疫神祭

二月二十八日(土)午後五時

以上 系碕神社宮司 松本圭